

<毎月決算型>

第120期末 (2023年7月20日)	
基準価額	9,738円
純資産総額	47億円
第115期～第120期 (2023年1月21日～2023年7月20日)	
騰落率	11.9%
分配金合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<年2回決算型>

第20期末 (2023年7月20日)	
基準価額	18,439円
純資産総額	24億円
騰落率	12.0%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ 世界高配当株ファンド

(毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2023年1月21日～2023年7月20日

<毎月決算型>

第115期 (決算日2023年2月20日) 第118期 (決算日2023年5月22日)
第116期 (決算日2023年3月20日) 第119期 (決算日2023年6月20日)
第117期 (決算日2023年4月20日) 第120期 (決算日2023年7月20日)

<年2回決算型>

第20期 (決算日2023年7月20日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)」は、2023年7月20日に決算を行いました。

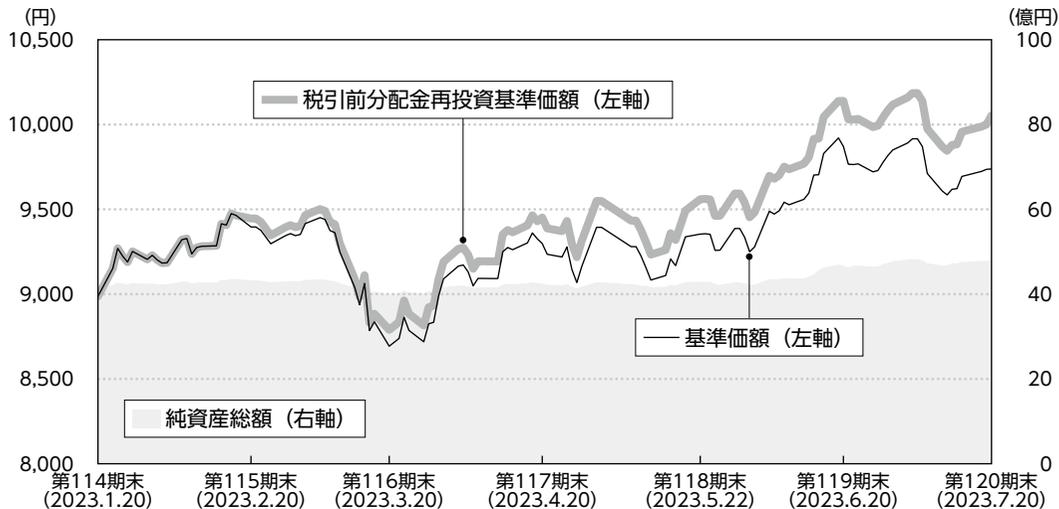
各ファンドは、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート(不動産投資信託)等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2023年1月21日～2023年7月20日

基準価額等の推移



第114期末 (2023.1.20)			
第115期末 (2023.2.20)			
第116期末 (2023.3.20)			
第117期末 (2023.4.20)			
第118期末 (2023.5.22)			
第119期末 (2023.6.20)			
第120期末 (2023.7.20)			
第115期首	8,987円	既払分配金	300円
第120期末	9,738円	騰落率(分配金再投資ベース)	11.9%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 3月下旬から4月中旬にかけて、欧米金融当局の金融危機への素早い対応や欧米大手金融機関は堅調な業績であったこと
- ・ 6月上旬以降、米債務上限問題の解決や堅調な景気動向に加え、生成人工知能(AI)からの高性能画像処理半導体(GPU)需要の高まりを受けて米半導体企業が市場予想を大きく上回る業績見通しを発表したことでAI関連銘柄が物色されたこと
- ・ 日銀の金融緩和継続姿勢や世界的な金融引き締め継続を受け、当作成期を通じて円安が進行したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬から中旬にかけて、米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安により、クレディ・スイス・グループがUBSに救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開となったこと
- ・ 4月下旬から5月下旬にかけて、想定を下回る中国の景気回復や米連邦政府の債務上限問題が嫌気されたこと

1万口当たりの費用明細

項目	第115期～第120期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	57円	0.612%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,344円です。
（投信会社）	(15)	(0.163)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(41)	(0.435)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	57	0.614	

(注1) 作成中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

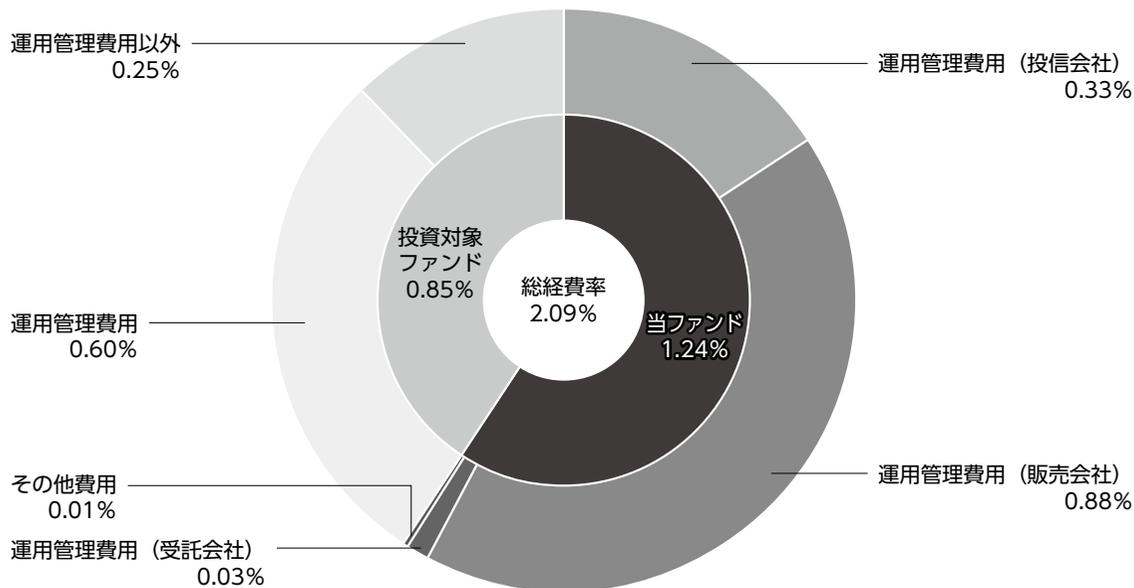
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.09%**です。



総経費率 (①+②+③)	2.09%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.60%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.25%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

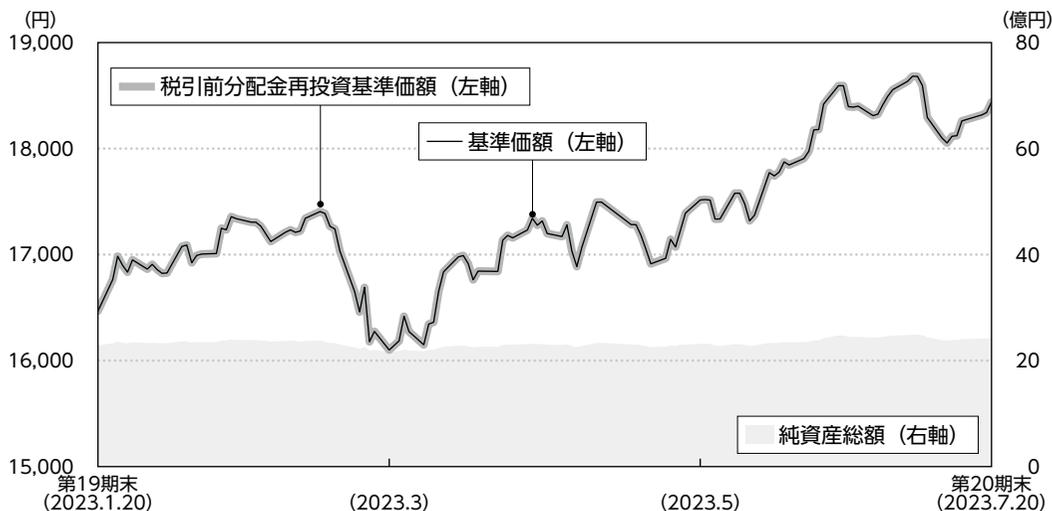
(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第20期首	16,467円	既払分配金	0円
第20期末	18,439円	騰落率（分配金再投資ベース）	12.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 3月下旬から4月中旬にかけて、欧米金融当局の金融危機への素早い対応や欧米大手金融機関は堅調な業績であったこと
- ・ 6月上旬以降、米債務上限問題の解決や堅調な景気動向に加え、生成人工知能（AI）からの高性能画像処理半導体（GPU）需要の高まりを受けて米半導体企業が市場予想を大きく上回る業績見通しを発表したことでAI関連銘柄が物色されたこと
- ・ 日銀の金融緩和継続姿勢や世界的な金融引き締め継続を受け、期を通じて円安が進行したこと

<下落要因>

- ・ 3月上旬から中旬にかけて、米地銀の経営破綻に端を発した金融機関への信用不安により、クレディ・スイス・グループがUBSに救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開となったこと
- ・ 4月下旬から5月下旬にかけて、想定を下回る中国の景気回復や米連邦政府の債務上限問題が嫌気されたこと

1万口当たりの費用明細

項目	第20期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	106円	0.611%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は17,369円です。
（投信会社）	（ 28）	（0.163）	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 75）	（0.435）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.013）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 1）	（0.004）	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	107	0.614	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

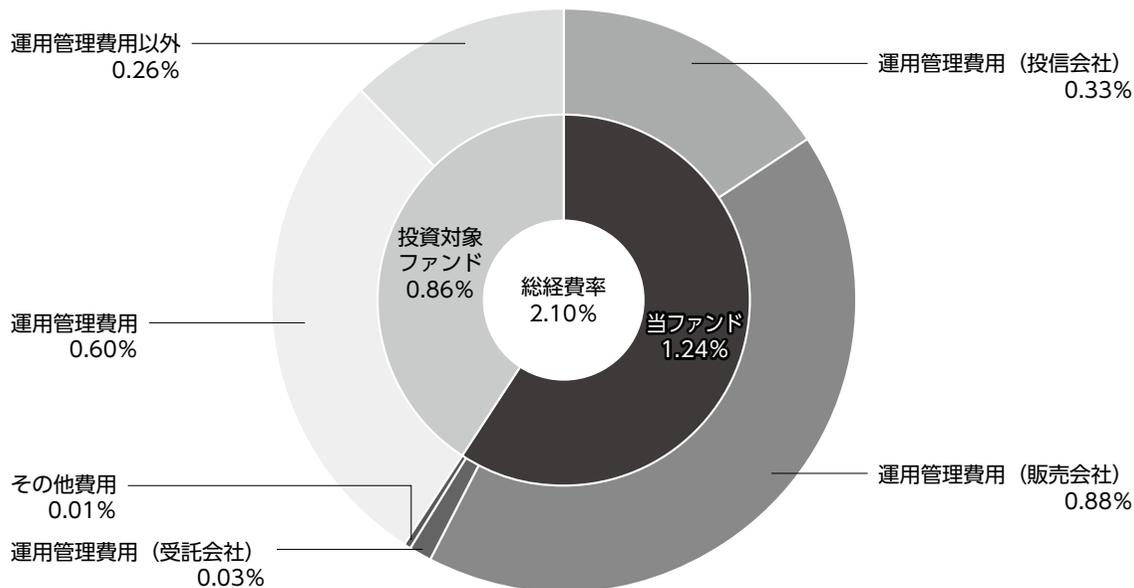
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.10%**です。



総経費率 (①+②+③)	2.10%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.60%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.26%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

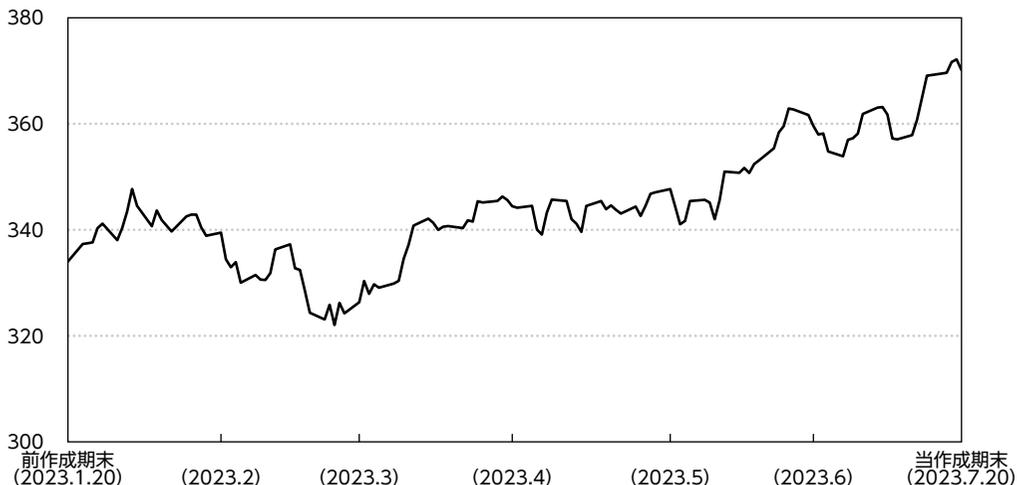
(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【MSCI ACWI (配当込み、米ドルベース) の推移】



(注) 指数はブルームバークのデータを使用しています。

株式市場は当作成期を通じて見ると上昇しました。

当作成期初以降、インフレ鈍化や懸念されていたほど悪化していない景気動向、中国の経済正常化への期待感などから堅調に推移しました。その後、3月中旬に米地銀破綻に端を発した欧米における金融不安発生で、クレディ・スイス・グループがUBSに救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開から投資家のリスク回避的な動きとなり、下落する場面がありました。しかし、欧米金融当局の素早い対応もあり、今後の金融引き締め早期完了期待が高まるかたちで、テクノロジー株をけん引役として再び上昇に転じました。その後は、主要グローバル企業の良好な業績動向に加え、生成AIの爆発的な成長による恩恵を見込む米半導体企業の業績見通しを手掛かりとした関連テーマへの物色集中がけん引し、特に米国の金融引き締め減速見通しにより、金融引き締め環境下で大きく下落していた高成長・テクノロジー株の買い戻しと見られる動きが強まりました。一方で、世界的な金融引き締めの継続や中国の景気回復鈍化などが嫌気される場面もありましたが、良好な企業業績が下支えとなり、上昇基調を維持して当作成期末を迎えました。

ポートフォリオ

■各ファンド

当作成期も外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス

*現地における当作成期末の前営業日基準についての説明です。

<個別銘柄>

主に日本を含む各国の株式およびリート等に分散投資し、予想配当利回り、配当政策、流動性および個別企業分析・株価評価等を勘案してポートフォリオを構築しました。

当作成期末においても、配当利回りが相対的に高い銘柄を保有しています。世界的な飲料メーカー、エレクトロニクス・オートメーション・デジタル化の分野におけるテクノロジー企業、BDC（ビジネス・デベロップメント・カンパニー）、半導体専門ICファンドリーメーカー（半導体チップの製造を専門に行う企業）、アジア最大級の総合金融機関など、インフレ環境下で価格決定力があり、優れた経営戦略を有し、強固なビジネス基盤や内部の自助努力、今後も高い配当が期待できるキャッシュフロー創出力に優れたものが多く、今後の利益成長も期待できバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）も魅力的な水準にあると判断される企業を中心に上位に保有しています。

<国・地域別配分>

当作成期末では組入比率の高い順にアメリカ（34.3%）、台湾（10.6%）、ドイツ（8.5%）としています。

（注1）国、地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注2）比率は対組入株式等評価額比です。

<業種配分>

当作成期末では、AIを主軸とした産業革命期待やデジタル社会が進む中で強い需要が継続しているクラウド・データセンター向けなどのエンド市場の成長を背景に堅調な需要が見込まれているITサービスや半導体などの関連企業を中心とした「情報技術」、金融緩和の正常化過程において金利環境改善の恩恵が見込めるBDCや銀行などの「金融」、エネルギー価格の変動から直接的な影響は受けにくいガス・パイプライン運営などを手掛けるエネルギー・インフラ企業を中心とした「エネルギー」の組入比率が高いポートフォリオとしています。

（注）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

■毎月決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

■年2回決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■ 毎月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第115期 2023年1月21日 ～ 2023年2月20日	第116期 2023年2月21日 ～ 2023年3月20日	第117期 2023年3月21日 ～ 2023年4月20日	第118期 2023年4月21日 ～ 2023年5月22日	第119期 2023年5月23日 ～ 2023年6月20日	第120期 2023年6月21日 ～ 2023年7月20日
	当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円
対基準価額比率	0.53%	0.57%	0.53%	0.53%	0.50%	0.51%
当期の収益	50円	50円	50円	50円	50円	50円
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,809円	3,836円	3,871円	3,899円	3,933円	3,959円

■ 年2回決算型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2023年1月21日～2023年7月20日
	当期分配金（税引前）
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,819円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

今後も、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス

不透明な相場環境が続く株式市場の物色も目まぐるしく変化する中で、高配当銘柄はインフレヘッジ（インフレによる資産価値の相対的下落による損失回避）目的に適しているものがあり、投資対象として比較的良好な位置にあると判断しています。当ファンドの高配当銘柄は強固なビジネス基盤や内部の自助努力、今後も高い配当が期待できるキャッシュフロー創出力に優れたものが多く、バリュエーションも魅力的な水準にあると判断しています。引き続き、適切な財務レバレッジ（借入金などを利用して多くの資金を事業に投下すること）により、着実なキャッシュフローの創出で配当支払いをしっかりとカバーでき、今後の業績・配当成長と利回りのバランスがとれた銘柄を選別していくことが重要であると考えています。

このような環境のもと、投資の視点で注目すべきことは引き続き、先進国株式市場においては確かな経営執行能力を持つ企業への厳選投資であると考えています。一方、新興国株式市場においては魅力ある成長性とバリュエーションを持つ企業への選別投資が必要であると考えており、そのためには業績の裏付けがある個別企業の成長性や、豊富な手元流動性（すぐに支払いにあてることのできる資産）の有効活用など、企業の資本政策に対する考え方に注目すべきであると考えています。

当ファンドでは特に高配当銘柄に着目し投資銘柄を厳選しています。しかし、単純に配当利回り水準のみに注目すると、成長力が乏しく、万年割安な銘柄（株価上昇が見込めない銘柄）を選択する懸念があります。そのため、個別企業の徹底した調査・分析を実施し、企業の資本政策を見極め、配当利回りが高いだけでなく、成長性が見込め、かつ、株価の上昇が期待できる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

今後も個別企業とのコンタクトに力点を置き、企業の配当政策や成長戦略を把握した上で、事業の収益性と安定性のバランス、今後の利益成長も見込める企業を厳選し、投資を行う方針です。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）の組入資産の内容

組入ファンド

	第120期末 2023年7月20日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X ・オープン・クラス	97.8%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

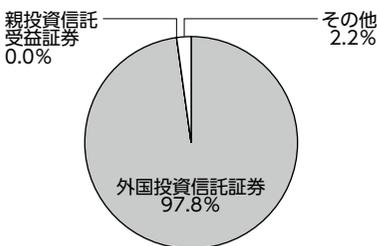
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

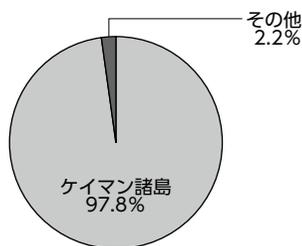
項目	第115期末 2023年2月20日	第116期末 2023年3月20日	第117期末 2023年4月20日	第118期末 2023年5月22日	第119期末 2023年6月20日	第120期末 2023年7月20日
純資産総額	4,323,616,953円	3,995,872,929円	4,249,797,226円	4,291,052,211円	4,675,008,154円	4,797,188,353円
受益権総口数	4,601,383,617口	4,596,584,994口	4,570,720,455口	4,587,404,548口	4,736,125,418口	4,926,350,363口
1万口当たり基準価額	9,396円	8,693円	9,298円	9,354円	9,871円	9,738円

(注) 当作成期間（第115期～第120期）中における追加設定元本額は522,588,155円、同解約元本額は205,986,497円です。

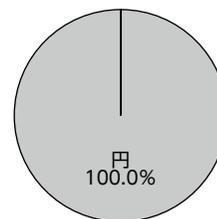
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年7月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）の組入資産の内容

組入ファンド

	第20期末 2023年7月20日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス	98.5%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

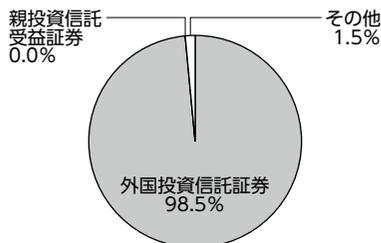
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

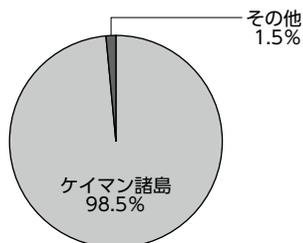
項目	第20期末 2023年7月20日
純資産総額	2,429,637,721円
受益権総口数	1,317,695,483口
1万口当たり基準価額	18,439円

(注) 当期間中における追加設定元本額は41,544,235円、同解約元本額は112,735,092円です。

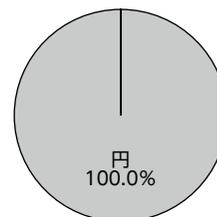
資産別配分



国別配分



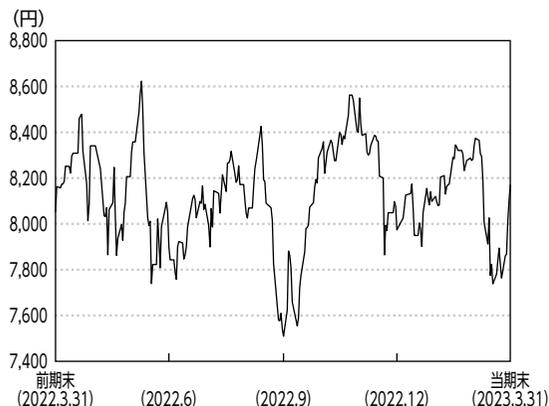
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年7月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラスの概要

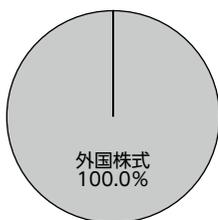
■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



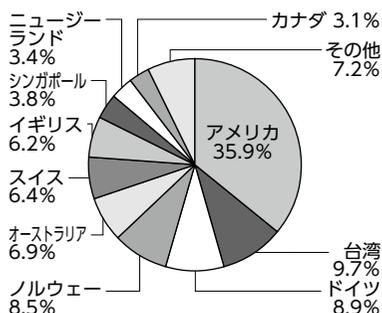
■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
INTL BUSINESS MACHINES CO	米ドル	4.7%
COCA-COLA CO/THE	米ドル	4.6%
ARES CAPITAL CORP	米ドル	4.2%
SIEMENS AG-REG	ユーロ	4.1%
DBS GROUP HOLDINGS LTD	シンガポール・ドル	3.8%
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	台湾ドル	3.7%
PFIZER INC	米ドル	3.5%
SPARK NEW ZEALAND LTD	ニュージーランド・ドル	3.4%
ATEA ASA	ノルウェー・クローネ	3.4%
DEUTSCHE POST AG-REG	ユーロ	3.3%
組入銘柄数		50

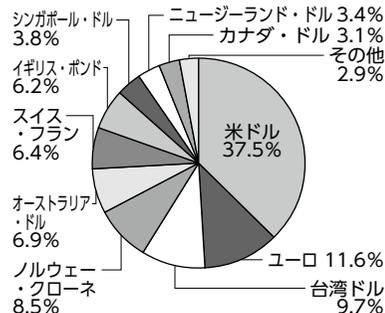
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

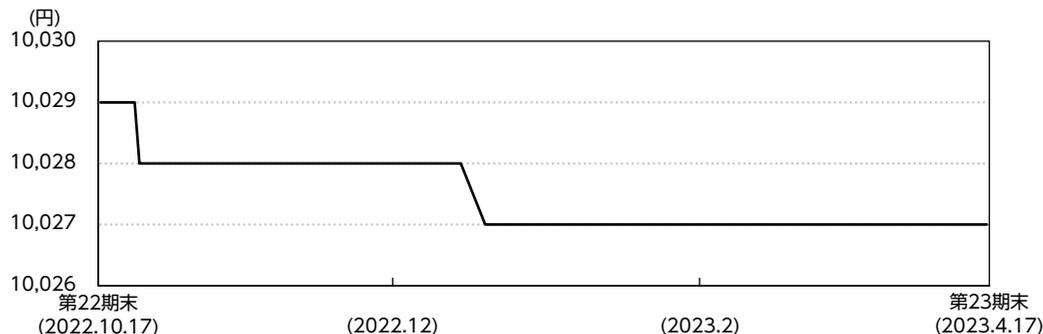
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2023年3月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券のポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 1万円当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

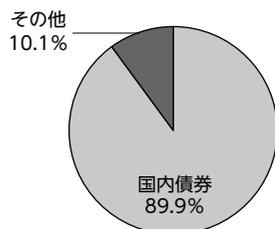
銘柄名	通貨	比率
第132回 共同発行市場公募地方債	円	22.1%
平成30年度第2回 北海道公募公債 (5年)	円	21.9
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	14.2
第26回 政保日本政策金融公庫債券	円	14.2
第49回 政保地方公共団体金融機構債券	円	14.2
第1121回 国庫短期証券	円	2.0
第374回 大阪府公募公債	円	1.4
組入銘柄数		7

■ 1万口当たりの費用明細

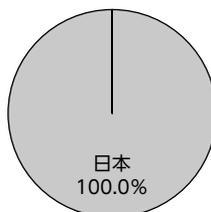
2022.10.18~2023.4.17

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

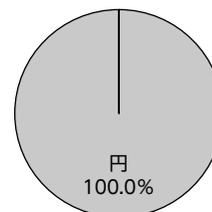
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年4月17日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金			
	円	円	%	円	%	%	百万円
91期(2021年 2 月22日)	8,136	50	4.4	12,636	98.0	0.0	5,525
92期(2021年 3 月22日)	8,496	50	5.0	13,046	98.1	0.0	5,700
93期(2021年 4 月20日)	8,589	50	1.7	13,189	98.1	0.0	5,629
94期(2021年 5 月20日)	8,655	50	1.4	13,305	98.0	0.0	5,463
95期(2021年 6 月21日)	8,676	50	0.8	13,376	98.0	0.0	5,335
96期(2021年 7 月20日)	8,424	50	△2.3	13,174	98.0	0.0	5,075
97期(2021年 8 月20日)	8,578	50	2.4	13,378	98.2	0.0	5,103
98期(2021年 9 月21日)	8,513	50	△0.2	13,363	98.1	0.0	4,936
99期(2021年10月20日)	8,896	50	5.1	13,796	98.1	0.0	5,082
100期(2021年11月22日)	8,922	50	0.9	13,872	98.0	0.0	4,987
101期(2021年12月20日)	9,017	50	1.6	14,017	98.0	0.0	5,003
102期(2022年 1 月20日)	9,357	50	4.3	14,407	98.1	0.0	5,056
103期(2022年 2 月21日)	9,241	50	△0.7	14,341	98.2	0.0	4,948
104期(2022年 3 月22日)	9,503	50	3.4	14,653	98.1	0.0	5,076
105期(2022年 4 月20日)	10,176	50	7.6	15,376	98.0	0.0	5,342
106期(2022年 5 月20日)	9,412	50	△7.0	14,662	98.2	0.0	4,844
107期(2022年 6 月20日)	9,299	50	△0.7	14,599	97.9	0.0	4,753
108期(2022年 7 月20日)	9,573	50	3.5	14,923	98.2	0.0	4,814
109期(2022年 8 月22日)	9,753	50	2.4	15,153	98.1	0.0	4,834
110期(2022年 9 月20日)	9,433	50	△2.8	14,883	97.9	0.0	4,655
111期(2022年10月20日)	9,253	50	△1.4	14,753	98.2	0.0	4,535
112期(2022年11月21日)	9,634	50	4.7	15,184	98.0	0.0	4,533
113期(2022年12月20日)	9,383	50	△2.1	14,983	97.9	0.0	4,360
114期(2023年 1 月20日)	8,987	50	△3.7	14,637	98.4	0.0	4,143
115期(2023年 2 月20日)	9,396	50	5.1	15,096	98.0	0.0	4,323
116期(2023年 3 月20日)	8,693	50	△6.9	14,443	98.0	0.0	3,995
117期(2023年 4 月20日)	9,298	50	7.5	15,098	98.0	0.0	4,249
118期(2023年 5 月22日)	9,354	50	1.1	15,204	98.0	0.0	4,291
119期(2023年 6 月20日)	9,871	50	6.1	15,771	97.3	0.0	4,675
120期(2023年 7 月20日)	9,738	50	△0.8	15,688	97.8	0.0	4,797

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率
第 115 期	(期首) 2023年1月20日	円 8,987	% -	% 98.4	% 0.0
	1月末	9,229	2.7	98.0	0.0
	(期末) 2023年2月20日	9,446	5.1	98.0	0.0
第 116 期	(期首) 2023年2月20日	9,396	-	98.0	0.0
	2月末	9,357	△0.4	97.9	0.0
	(期末) 2023年3月20日	8,743	△6.9	98.0	0.0
第 117 期	(期首) 2023年3月20日	8,693	-	98.0	0.0
	3月末	9,090	4.6	98.4	0.0
	(期末) 2023年4月20日	9,348	7.5	98.0	0.0
第 118 期	(期首) 2023年4月20日	9,298	-	98.0	0.0
	4月末	9,163	△1.5	97.6	0.0
	(期末) 2023年5月22日	9,404	1.1	98.0	0.0
第 119 期	(期首) 2023年5月22日	9,354	-	98.0	0.0
	5月末	9,335	△0.2	98.0	0.0
	(期末) 2023年6月20日	9,921	6.1	97.3	0.0
第 120 期	(期首) 2023年6月20日	9,871	-	97.3	0.0
	6月末	9,850	△0.2	97.4	0.0
	(期末) 2023年7月20日	9,788	△0.8	97.8	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

売買および取引の状況

2023年1月21日～2023年7月20日

(1) 投資信託証券

	第115期～第120期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 7,738	千円 582,813	千口 3,264	千円 240,140

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第115期～第120期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当作成期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2023年1月21日～2023年7月20日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年7月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	第114期末	第120期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 56,457	千口 60,931	千円 4,692,348	% 97.8
合計	56,457	60,931	4,692,348	97.8

(注1) 比率は、当作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	第114期末	第120期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当作成期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は741,407千口です。

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

投資信託財産の構成

2023年7月20日現在

項目	第120期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エグイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千円 4,692,348	% 97.2
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	134,457	2.8
投資信託財産総額	4,826,816	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2023年2月20日)	(2023年3月20日)	(2023年4月20日)	(2023年5月22日)	(2023年6月20日)	(2023年7月20日) 現在
	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	第119期末	第120期末
(A) 資産	4,355,829,304円	4,026,418,097円	4,280,021,164円	4,318,583,077円	4,781,247,860円	4,826,816,464円
コール・ローン等	85,442,110	108,853,984	93,365,835	112,574,208	231,018,321	134,457,937
NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エグイティ・ファンド FX・ オープン・クラス(評価額)	4,236,307,184	3,917,554,103	4,165,165,319	4,205,998,860	4,550,219,530	4,692,348,518
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,010	10,010	10,010	10,009	10,009	10,009
未収入金	34,070,000	-	21,480,000	-	-	-
(B) 負債	32,212,351	30,545,168	30,223,938	27,530,866	106,239,706	29,628,111
未払金	-	-	-	-	76,640,000	-
未払収益分配金	23,006,918	22,982,924	22,853,602	22,937,022	23,680,627	24,631,751
未払解約金	4,703,500	3,504,683	3,005,709	-	1,624,542	175,248
未払信託報酬	4,480,358	4,038,065	4,343,500	4,571,748	4,274,034	4,798,410
その他未払費用	21,575	19,496	21,127	22,096	20,503	22,702
(C) 純資産総額(A-B)	4,323,616,953	3,995,872,929	4,249,797,226	4,291,052,211	4,675,008,154	4,797,188,353
元本	4,601,383,617	4,596,584,994	4,570,720,455	4,587,404,548	4,736,125,418	4,926,350,363
次期繰越損益金△	277,766,664	600,712,065	320,923,229	296,352,337	61,117,264	129,162,010
(D) 受益権総口数	4,601,383,617口	4,596,584,994口	4,570,720,455口	4,587,404,548口	4,736,125,418口	4,926,350,363口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,396円	8,693円	9,298円	9,354円	9,871円	9,738円

(注1) 当作成期首元本額 4,609,748,705円

 当作成期中追加設定元本額 522,588,155円

 当作成期中一部解約元本額 205,986,497円

(注2) 元本の欠損

 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は129,162,010円です。

ニッセイ世界高配当株ファンド (毎月決算型)

損益の状況

	(第115期 第116期 第117期)	2023年1月21日～2023年2月20日) 2023年2月21日～2023年3月20日) 2023年3月21日～2023年4月20日)	(第118期 第119期 第120期)	2023年4月21日～2023年5月22日) 2023年5月23日～2023年6月20日) 2023年6月21日～2023年7月20日)		
項目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
(A) 配当等収益	39,266,258円	39,332,914円	39,153,188円	39,072,873円	39,579,907円	41,705,362円
受取配当金	39,268,301	39,334,561	39,154,321	39,078,218	39,586,729	41,712,369
受取利息	205	172	173	4	26	584
支払利息 △	2,248	1,819	1,306	5,349	6,848	7,591
(B) 有価証券売買損益	176,135,208	△ 335,475,371	264,446,186	14,507,646	227,463,396	△ 74,482,903
売買益	176,597,858	348,657	265,392,930	15,545,788	228,384,214	927,852
売買損 △	462,650	△ 335,824,028	△ 946,744	△ 1,038,142	△ 920,818	△ 75,410,755
(C) 信託報酬等 △	4,501,959	4,057,602	4,364,666	4,593,898	4,294,588	4,821,216
(D) 当期損益金(A+B+C)	210,899,507	△ 300,200,059	299,234,708	48,986,621	262,748,715	△ 37,598,757
(E) 前期繰越損益金 △	422,153,566	233,490,225	552,957,983	274,832,436	244,910,759	5,794,624
(分配準備積立金)	(1,183,976,767)	(1,195,469,157)	(1,199,700,970)	(1,207,771,446)	(1,201,560,551)	(1,206,816,886)
(繰越欠損金)	(△1,606,130,333)	(△1,428,959,382)	(△1,752,658,953)	(△1,482,603,882)	(△1,446,471,310)	(△1,212,611,510)
(F) 追加信託差損益金*	△ 43,505,687	△ 44,038,857	△ 44,346,352	△ 47,569,500	△ 55,274,593	△ 61,136,878
(配当等相当額)	(553,656,822)	(555,784,546)	(553,922,323)	(568,093,510)	(646,161,069)	(731,602,974)
(売買損益相当額)	(△ 597,162,509)	(△ 599,823,403)	(△ 598,268,675)	(△ 615,663,010)	(△ 701,435,662)	(△ 792,739,852)
(G) 合計(D+E+F) △	254,759,746	577,729,141	298,069,627	273,415,315	37,436,637	104,530,259
(H) 収益分配金 △	23,006,918	22,982,924	22,853,602	22,937,022	23,680,627	24,631,751
次期繰越損益金(G+H) △	277,766,664	600,712,065	320,923,229	296,352,337	61,117,264	129,162,010
追加信託差損益金 △	43,505,687	44,038,857	44,346,352	47,569,500	55,274,593	61,136,878
(配当等相当額)	(553,656,822)	(555,784,546)	(553,922,323)	(568,093,510)	(646,161,069)	(731,602,974)
(売買損益相当額)	(△ 597,162,509)	(△ 599,823,403)	(△ 598,268,675)	(△ 615,663,010)	(△ 701,435,662)	(△ 792,739,852)
分配準備積立金	1,199,415,400	1,207,761,545	1,215,437,514	1,220,557,427	1,216,823,373	1,219,069,281
繰越欠損金 △	1,433,676,377	1,764,434,753	1,492,014,391	1,469,340,264	1,222,666,044	1,287,094,413

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
(a) 経費控除後の配当等収益	38,445,551円	35,275,312円	38,590,146円	35,723,003円	38,943,449円	36,884,146円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	553,656,822円	555,784,546円	553,922,323円	568,093,510円	646,161,069円	731,602,974円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,183,976,767円	1,195,469,157円	1,199,700,970円	1,207,771,446円	1,201,560,551円	1,206,816,886円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	1,776,079,140円	1,786,529,015円	1,792,213,439円	1,811,587,959円	1,886,665,069円	1,975,304,006円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	3,859.88円	3,886.64円	3,921.07円	3,949.05円	3,983.56円	4,009.67円
(g) 分配金	23,006,918円	22,982,924円	22,853,602円	22,937,022円	23,680,627円	24,631,751円
(h) 分配金(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配前)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
16期 (2021年7月20日)	14,010	0	11.2	14,010	97.9	0.0	2,208
17期 (2022年1月20日)	16,092	0	14.9	16,092	98.4	0.0	2,390
18期 (2022年7月20日)	17,001	0	5.6	17,001	98.4	0.0	2,396
19期 (2023年1月20日)	16,467	0	△ 3.1	16,467	98.0	0.0	2,287
20期 (2023年7月20日)	18,439	0	12.0	18,439	98.5	0.0	2,429

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配前）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率
(期首) 2023年1月20日	16,467	—	98.0	0.0
1月末	16,908	2.7	98.5	0.0
2月末	17,233	4.7	98.3	0.0
3月末	16,837	2.2	98.8	0.0
4月末	17,065	3.6	97.9	0.0
5月末	17,480	6.2	98.9	0.0
6月末	18,556	12.7	98.4	0.0
(期末) 2023年7月20日	18,439	12.0	98.5	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2023年1月21日～2023年7月20日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 2,163	千円 161,050	千口 2,118	千円 158,410

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2023年1月21日～2023年7月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年7月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 31,033	千口 31,078	千円 2,393,326	% 98.5
合計	31,033	31,078	2,393,326	98.5

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は741,407千口です。

投資信託財産の構成

2023年7月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千円 2,393,326	% 97.9
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	50,683	2.1
投資信託財産総額	2,444,019	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年7月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	2,444,019,917円
コール・ローン等	50,683,772
N A M・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス(評価額)	2,393,326,136
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,009
(B) 負債	14,382,196
未払信託報酬	14,298,613
その他未払費用	83,583
(C) 純資産総額(A-B)	2,429,637,721
元本	1,317,695,483
次期繰越損益金	1,111,942,238
(D) 受益権総口数	1,317,695,483口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,439円

(注) 期首元本額	1,388,886,340円
期中追加設定元本額	41,544,235円
期中一部解約元本額	112,735,092円

損益の状況

当期 (2023年1月21日~2023年7月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	123,936,086円
受取配当金	123,946,929
受取利息	465
支払利息	△ 11,308
(B) 有価証券売買損益	143,187,043
売買益	150,045,358
売買損	△ 6,858,315
(C) 信託報酬等	△ 14,382,554
(D) 当期損益金(A+B+C)	252,740,575
(E) 前期繰越損益金	712,732,775
(分配準備積立金)	(1,346,559,480)
(繰越欠損金)	(△ 633,826,705)
(F) 追加信託差損益金*	146,468,888
(配当等相当額)	(225,366,577)
(売買損益相当額)	(△ 78,897,689)
(G) 合計(D+E+F)	1,111,942,238
次期繰越損益金(G)	1,111,942,238
追加信託差損益金	146,468,888
(配当等相当額)	(225,366,577)
(売買損益相当額)	(△ 78,897,689)
分配準備積立金	1,463,822,061
繰越欠損金	△ 498,348,711

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	117,262,581円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	225,366,577円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,346,559,480円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	1,689,188,638円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	12,819.26円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

お知らせ

■各ファンドの約款変更

信託期間を延長し、信託終了日を2023年7月20日から2028年7月20日に変更するため、関連条項に所要の変更を行いました。

(2023年4月21日)

■《毎月決算型》の自社の実質保有比率

2023年6月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に6.8%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

■《年2回決算型》の自社の実質保有比率

2023年6月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に6.8%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

各ファンドの概要

		毎月決算型	年2回決算型
商 品 分 類		追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間		2013年7月23日～2028年7月20日	
運 用 方 針		外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート（不動産投資信託）等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ世界高配株ファンド	「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	
	NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	日本を含む各国の株式およびリート等	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法		<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分 配 方 針		<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p>	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、信託財産の成長に資することを目的に、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p>

以下は、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス」および「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2023年3月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書（2022年4月1日～2023年3月31日）

<NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス
/カレンシー・セレクト・クラス>

	(円)
収益	
配当金	426,705,844
受取利息	9,682,280
外国為替取引益（損）	141,933,813
有価証券取引益（損）（評価損益を含む）	(132,383,911)
収益（損失）合計	445,938,026
費用	
管理事務代行報酬	6,502,726
管理報酬	44,584,620
年次規制手数料	990,291
名義書換代行報酬	5,008,838
信託報酬	2,775,951
監査報酬	8,815,156
外部専門家支払報酬	4,494,595
受託者報酬	2,717,183
取引費用	7,324,532
サービス手数料	237,485
費用合計	83,451,377
税引前利益（損失）	362,486,649
源泉税	(119,052,357)
運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純増（減）（受益者に対する分配前）	243,434,292
受益者に対する分配	(1,153,546,807)
運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純増（減）	910,112,515

(2) 投資有価証券明細表 (2023年3月31日現在)
NAM GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY FUND

Description	Holding / Shares	Issue/ Settle Curr	Market Value (Base)
INTL BUSINESS MACHINES CO	19,927.0000	U S D	347,648,447.00
COCA-COLA CO/THE	41,189.0000	U S D	340,025,775.00
ARES CAPITAL CORP	126,588.0000	U S D	307,878,054.00
SIEMENS AG-REG	14,035.0000	E U R	302,901,113.00
DBS GROUP HOLDINGS LTD	85,700.0000	S G D	283,093,093.00
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	117,000.0000	T W D	272,587,794.00
PFIZER INC	47,939.0000	U S D	260,302,262.00
SPARK NEW ZEALAND LTD	605,647.0000	N Z D	255,189,759.00
ATEA ASA	153,211.0000	N O K	249,212,220.00
DEUTSCHE POST AG-REG	39,291.0000	E U R	244,801,791.00
RIO TINTO PLC	26,261.0000	G B P	236,724,960.00
WILLIAMS COS INC	59,291.0000	U S D	235,617,415.00
NATIONAL GRID PLC	124,001.0000	G B P	223,740,492.00
ABBVIE INC	10,347.0000	U S D	219,457,199.00
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCH	5,080.0000	C H F	193,127,331.00
BROADCOM INC	2,250.0000	U S D	192,103,407.00
SWISS RE AG	11,886.0000	C H F	162,497,413.00
EOG RESOURCES INC	10,209.0000	U S D	155,743,635.00
CHEVRON CORP	6,893.0000	U S D	149,675,523.00
ASE TECHNOLOGY HOLDING CO	303,000.0000	T W D	149,000,761.00
VEIDEKKE ASA	94,781.0000	N O K	133,935,434.00
VOLVO AB-B SHS	47,510.0000	S E K	130,400,358.00
MANULIFE FINANCIAL CORP	51,407.0000	C A D	125,370,597.00
AMCOR PLC	77,958.0000	U S D	118,067,879.00
NOVARTIS AG-REG	9,489.0000	C H F	115,792,343.00
MERCEDES-BENZ GROUP AG	10,630.0000	E U R	108,789,965.00
APA GROUP	119,938.0000	A U D	108,189,015.00
PROSPECT CAPITAL CORP	116,246.0000	U S D	107,675,294.00
ROYAL BANK OF CANADA	8,448.0000	C A D	107,375,750.00
WALGREENS BOOTS ALLIANCE	21,900.0000	U S D	100,785,467.00
DOW INC	12,693.0000	U S D	92,604,506.00
MEDIATEK INC	26,000.0000	T W D	89,441,982.00
IBERDROLA SA	53,553.0000	E U R	88,932,361.00
VODACOM GROUP LTD	93,076.0000	Z A R	85,206,096.00
RURAL FUNDS GROUP	439,174.0000	A U D	78,291,113.00
KONINKLIJKE PHILIPS NV	31,423.0000	E U R	76,494,741.00
NEWELL BRANDS INC	45,494.0000	U S D	75,318,786.00
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	5,799.0000	U S D	75,053,600.00
BHP GROUP LTD	17,346.0000	A U D	73,023,583.00
NINE ENTERTAINMENT CO HOL	402,771.0000	A U D	70,724,563.00
REALTEK SEMICONDUCTOR COR	41,000.0000	T W D	69,446,266.00
HON HAI PRECISION INDUSTR	137,000.0000	T W D	62,279,805.00
EQUINOR ASA	15,292.0000	N O K	58,045,550.00
SUPER RETAIL GROUP LTD	45,067.0000	A U D	50,413,660.00
SIMPLIO TECHNOLOGY CO LTD	32,000.0000	T W D	42,382,439.00
TIETOEVRY OYJ	8,746.0000	E U R	36,572,342.00
KMC KUEI MENG INTERNATIONAL	56,000.0000	T W D	35,003,978.00

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 23 期

(計算期間：2022年10月18日～2023年4月17日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・ 外貨建資産への投資は行いません。



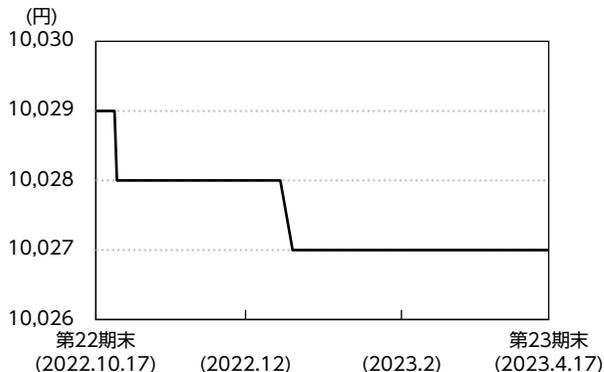
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2022年10月18日～2023年4月17日

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

<下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
19期 (2021年 4月15日)	10,029	△0.0	77.5	50
20期 (2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期 (2022年 4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50
22期 (2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4	50
23期 (2023年 4月17日)	10,027	△0.0	89.9	706

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2022年10月17日	10,029	—	79.4
10月末	10,028	△0.0	59.6
11月末	10,028	△0.0	59.5
12月末	10,028	△0.0	70.6
2023年 1月末	10,027	△0.0	71.7
2月末	10,027	△0.0	70.1
3月末	10,027	△0.0	68.4
(期末)2023年 4月17日	10,027	△0.0	89.9

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2022年10月18日～2023年4月17日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,027円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2022年10月18日～2023年4月17日

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	14,014	—
	地方債証券	311,009	—
	特殊債券	301,574	(30,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2022年10月18日～2023年4月17日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
千円		千円	
第132回 共同発行市場公募地方債	155,957	—	—
平成30年度第2回 北海道公募公債（5年）	155,051		
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,619		
第26回 政保日本政策金融公庫債券	100,528		
第49回 政保地方公共団体金融機構債券	100,427		
第1121回 国庫短期証券	14,014		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年4月17日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	14,000 (14,000)	14,009 (14,009)	2.0 (2.0)	—	—	—	—	2.0 (2.0)
地方債証券	320,000 (320,000)	320,968 (320,968)	45.4 (45.4)	—	—	—	—	45.4 (45.4)
特殊債券 (除く金融債券)	300,000 (300,000)	300,773 (300,773)	42.6 (42.6)	—	—	—	—	42.6 (42.6)
合計	634,000 (634,000)	635,751 (635,751)	89.9 (89.9)	—	—	—	—	89.9 (89.9)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第1121回 国庫短期証券	—	2023/11/20	14,000	14,009
	小計	—	—	—	14,009
地方債証券	平成30年度第2回 北海道公募公債(5年)	0.0300	2023/ 5 /31	155,000	155,014
	第374回 大阪府公募公債	0.9380	2023/ 7 /28	10,000	10,026
	第132回 共同発行市場公募地方債	0.6600	2024/ 3 /25	155,000	155,928
	小計	—	—	—	320,968
特殊債券 (除く金融債券)	第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.6990	2023/10/31	100,000	100,390
	第49回 政保地方公共団体金融機構債券	0.8820	2023/ 6 /16	100,000	100,146
	第26回 政保日本政策金融公庫債券	0.9110	2023/ 7 /19	100,000	100,236
	小計	—	—	—	300,773
	合計	—	—	—	635,751

投資信託財産の構成

2023年4月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	635,751	89.9
コール・ローン等、その他	71,405	10.1
投資信託財産総額	707,157	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月17日現在)

項目		当期末
(A)資産	産	707,157,019円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等		70,979,907
公 社 債 (評 価 額)		635,751,552
未 収 利 息		302,240
前 払 費 用		123,320
(B)負債	債	323,519
未 払 解 約 金		323,355
そ の 他 未 払 費 用		164
(C)純 資 産 総 額 (A - B)		706,833,500
元 本		704,956,153
次 期 繰 越 損 益 金		1,877,347
(D)受 益 権 総 口 数		704,956,153口
1万口当たり基準価額 (C / D)		10,027円

(注1) 期首元本額 50,381,791円
 期中追加設定元本額 700,353,019円
 期中一部解約元本額 45,778,657円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,952,679円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
通貨選択型ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨ヘッジあり)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・高替ヘッジあり)	9,977円
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・高替ヘッジなし)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイ A 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイ A 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
D C ニッセイターゲットデットファンド 2 0 2 5	654,584,564円
ニッセイ/コムジエスト新興成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジエスト新興成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイ A 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ A 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T C W 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
既定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジあり)	9,973円
既定追加型・繰上償還条項付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジなし)	9,973円
ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2023-02(為替ヘッジあり・既定追加型)	9,974円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期 (2022年10月18日～2023年4月17日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	860,754円
受 取 利 息	882,935
支 払 利 息	△ 22,181
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 957,608
売 買 損 益	△ 957,608
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,213
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 98,067
(E)前 期 繰 越 損 益 金	143,762
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	1,955,725
(G)解 約 差 損 益 金	△ 124,073
(H)合 計 (D + E + F + G)	1,877,347
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,877,347

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。